

# 理窓教育会報

第 50 号

平成 29 年 10 月 1 日

東京理科大学理窓教育会

事務局 PORTA 神楽坂 7 階

## 巻頭言『坊っちゃん科学賞の益々の発展を望む』

東京理科大学理窓教育会会長 富岡 康夫 (48K)

平成 21 年度より始まった「坊っちゃん科学賞」研究論文コンテストも平成 28 年度で 8 回目を数えました。発表件数も増え、内容も充実し、多くの高校生の貴重な研究発表の機会となりました。これも理窓教育会の皆様が立ち上げから今日まで、様々な面でご支援を頂いた賜とお礼を申し上げます。最優秀賞に輝いた島根県立益田高校の「ローダミン B を使ってつくった赤い繭・青い繭」の研究は日本学生科学賞で文部科学大臣賞を受賞し、Los Angeles での 2017 インテル ISEF 世界大会に出場し、動物部門で 2 位を受賞しました。我が国の高校生の研究が評価されたものと誇らしく思うと同時に、高校生が本学の坊っちゃん科学賞に応募することが「あこがれ」となるような存在になることを願わずにはいられません。坂本功実行委員長のもと今年は第 9 回目を迎え、平成 29 年 10 月 29 日に理工学部創設 50 周年のホームカミングデーが開催される野田キャンパスで開催します。理窓会ホームページにも応募要項が掲載されていますので会員の皆様には関係する学校にぜひ応募を勧めてください。

さて平成 29 年 3 月末に新学習指導要領の幼稚園から中学校までが告示されました。改訂のポイントは「主体的・対話的で深い学び」の言葉にあるように知識の理解の質を高め資質・能力を育むために「何ができるようになるかを」明確化し、「授業改善」を求めていることです。これからの情報化やグローバル化など急激な社会的変化の中でも未来の創り手となるために必要な知識や力を確実に備えることを目

指しています。加えて大学入試センター試験に変わる新共通テスト「大学入学共通テスト」の内容がほぼ固まり、記述式の導入例が発表されました。国語と数学です。英語は民間試験の導入も行う予定です。入試に代表される高大接続の話題では知識理解の問題の正解とともに、課題を与えて学生がどうアプローチするかをこれからは重要視するといわれます。入試も知識の量や正誤だけでなく、創造力や批判的思考力を問うものへの転換が求められています。推薦入試も各大学で導入され、自分で研究した課題研究などをプレゼンテーションすることが行われるようになりました。まさに「坊っちゃん科学賞」研究論文コンテストが目指す方向です。さらに国内でも英国のオックスフォード大学のように物事を革新的に考えられる人材を選ぶ入学システムが始まる気配です。

訃報です。本会名誉会長で元東京都総務局長元教育次長の有竹雅夫様 (24RK、26K) が平成 29 年 6 月 8 日、鎌倉市の自宅にてご逝去されました。享年 88 歳でした。有竹先生は理窓教育会の初代会長として今日までご尽力せられた興隆の恩人です。奥様より皆様に大変お世話になりましたとの丁寧なご連絡を受けました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

終わりに全国の会員の皆様方には本当にお世話になります。活動の様子等をご連絡頂ければ有難いです。「会員の心のつながりを」大切に皆様と理窓教育会を充実させていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

(私立文華女子中学・高等学校長)

## 東京理科大学理窓教育会 平成 29 年度 総会

### 第1号議案 平成28年度 会務報告

#### 1. 東京理科大学理窓教育会総会

平成28年度は、「書面総会」の形式で実施した。各支部長に下記の事項の議案を送付し、意見等をアンケートの形で回答してもらった（アンケートの集約日は、平成28年6月末）。それを本部で集計し、会報第48号に詳細を掲載して、書面で承認をしてもらった。

- ① 平成27年度の会務報告及び会計報告。
- ② 平成28年度の活動計画及び予算案。

#### 2. 組織の充実、強化に関して

##### ① 各支部の活動状況（各支部からの報告事項から）

- |          |  |         |               |
|----------|--|---------|---------------|
| ・北海道支部総会 | (10月15日)                                       | ・青森支部総会 | (6月18日)       |
| ・岩手支部総会  | (11月19日)                                       | ・秋田支部総会 | (10月15日)      |
| ・群馬支部総会  | (11月26日)                                       | ・埼玉支部総会 | (7月 3日)       |
| ・東京支部総会  | ( 5月22日)                                       | ・千葉支部総会 | (8月 21日)      |
| ・神奈川支部総会 | (教育会単独ではなく神奈川支部総会に参加。小・中・高・私学合同の総会第1回目を11月に開催) |         |               |
| ・山梨支部総会  | (10月10日)                                       | ・静岡支部総会 | (平成29年 2月11日) |
| ・長野支部総会  | (10月16日)                                       | ・富山支部総会 | ( 8月27日)      |
| ・岡山支部総会  | ( 7月30日)                                       | ・広島支部総会 | ( 9月25日)      |
| ・佐賀支部総会  | (平成29年2月)                                      |         |               |

##### ③ 会報発行

第48号 平成28年10月 1日発行 第49号 平成29年 4月 1日発行

- ③ 副会長・支部長に会の活動状況、理窓教育会規約、副会長・支部長名簿等を送付し組織の活性化を図った。(10月)

#### 3. 大学との連携事業

##### ① 大学「キャリア教育」事業への協力

「理学部第二部：キャリア発達セミナー」の計画に基づき、理窓教育会会員が講師として招聘された。

#### 4. その他の活動（教育会主催）

##### ① 新規採用教員予定者激励会（平成29年 3月 4日（土））

本学を卒業し全国の公私立学校に新規採用の予定者を招いて激励した。

##### ② 編集委員会

平成28年7月 第48号の発行について 平成29年2月 第49号の発行について

##### ③ 指導委員会

教育センターが実施する教員採用試験対策講座 [3年生対象(秋) 合宿(3月) 4年生対象(春)] へ講師を紹介した。講義内容検討会(7月)を行った。私学教員採用対策講座(1月) キャリアセンター(就職課) が実施する教職ガイダンス [4年生対象(4月) 3年生対象(11月)] 及び面接指導(2次試験対策) への講師を紹介した。

##### ④ 研修委員会

平成28年9月18日（日）東京都管理職選考第一次選考合格者への面接指導を実施した。

以上

**第2号議案 平成28年度会計報告(案)**

**平成 28 年度 会計**

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

**第4号議案 平成29年度予算(案)**

**平成 29 年度 予算**

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

**[収入の部]**

科 目	予 算	決 算	比較増減
前年度繰越金	124,427	124,427	0
納入会費	250,000	237,390	-12,610
理窓会正会員協力金	10,000	10,800	800
雑収入・利息他	10	41,004	40,994
合 計	384,437	413,621	29,184

**[収入の部]**

科 目	予 算
前年度繰越金	98,531
納入会費	260,000
理窓会正会員協力金	10,000
雑収入・利息他	10
合 計	368,541

**[支出の部]**

科 目	予 算	決 算	比較増減
交通費	60,000	56,106	3,894
慶弔費	20,000	0	20,000
会議費	2,000	0	2,000
支部長会積立金	0	0	0
事務費	7,000	6,231	769
会報印刷費	140,000	135,799	4,201
郵送費、郵便代	100,000	106,954	-6,954
ホームページ更新等	20,000	10,000	10,000
予備費	35,437	0	35,437
小 計	384,437	315,090	69,347
次年度繰越金		98,531	
合 計	384,437	413,621	

**[支出の部]**

科 目	予 算
交通費	60,000
慶弔費	10,000
会議費	2,000
支部長会積立金	0
事務費	7,000
会報印刷費	135,000
郵送費、郵便代	105,000
ホームページ更新等	10,000
予備費(各支部総会出席費)	39,541
合 計	368,541

※ 納入会費 1,000円×250口 - 口座徴収料金 12,610円 =237,390 円。

[ 口座徴収料金内訳 130円×65通, 80円×52 通, , 0円×23通(現金納入等) ]

※ 収入の部「雑収入・利息」欄の41,004円は東京支部会員からのご寄付30,000円

東京支部会計から通信費負担金10,000円他

※ 会報印刷費支出には、角封筒代20,520円を含む。

※ 支部長会積立金は、次年度の運営を考慮し、予算の通り0円とする。

※ 各支部総会出席祝金については地区別支部長会費会計から支出予定。

**※地区別支部長会費会計 平成28年度会計報告及び平成29年度予算(案)**

**平成28年度 会計**

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

**平成29年度 予算**

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

**[収入の部]**

科 目	予 算	決 算	比較増減
前年度繰越金	932,477	932,477	0
本年度会計より	0	0	0
受取利子	200	8	-192
合 計	932,677	932,485	-192

**[収入の部]**

科 目	予 算
前年度繰越金	932,485
本年度会計より	0
受取利子	8
合 計	932,493

**[支出の部]**

科 目	予 算	決 算	比較増減
地区別支部長会費	250,000	0	250,000
予備費	682,677	0	682,677
小 計	932,677	0	932,677
次年度繰越金		932,485	
合 計	932,677	932,485	

**[支出の部]**

科 目	予 算
地区別支部長会費	250,000
予備費	682,493
合 計	932,493

会 計：(各担当理事) 齋藤常男 澁谷重雄 小林 博 竹村精治

**会 計 監 査**

監査の結果、正確・適正であることを認めます。

平成 29 年 5 月 10 日 監 査 細川秀夫 田村清志

## 第 3 号議案 平成29年度 活動計画（案）

### 1. 東京理科大学理窓教育会総会

平成29年理窓教育会総会は、「書面総会」方式とする。昨年度と同様に各支部長に議案を送付し、意見等をアンケートの形で回答してもらう。それを本部で集計し、会報第50号に詳細を掲載して、書面で承認をしてもらうこととする。

### 2. 各支部総会

各支部で実施する。実施状況を、会報第51号に掲載する。

### 3. 地区別支部長会

地区別支部長会を実施する。開催を希望する地区の副会長は開催日、開催地等を本部に申し出る。

### 4. 会報発行

第50号、第51号を発行する。

### 5. 財政の健全化に向けて

財政の健全化を期して会費納入者の増加を図る。

会報発送宛先ラベルの右下部に会費納入最終年度の数字を記載し、会員の納入年度の確認に利用しできるようにした。各支部では、本部への年会費（1名あたり1000円）の納入の呼びかけを一層進める。

### 6. 会員の拡大

同窓の教員に会報を送付し、会の活動を紹介し、会員の拡大を図る。

### 7. 大学との協力促進

① 教員希望学生への指導、採用試験等の情報提供については従来通り実施し、多くの後輩が教職に就けるよう協力する。

キャリアセンター（就職課）ガイダンス、面接指導への講師派遣、教育センター講座への講師派遣等の協力をする。

② 東京理科大学維持拡充資金（第二期）事業への協力。

ア. 趣旨に賛同し、その募金活動を継続推進する。

③ 大学の学生募集の協力。

ア. 学生募集広報に協力する。

イ. 第二部推薦入学の広報に協力をする。

④ 公立学校採用第二次選考試験及び私学採用試験対策講座等への面接指導講師派遣に協力。

⑤ ホームカミングデー運営への協力

⑥ 坊っちゃん科学賞の審査・発表会への協力

### 8. 教育管理職受験者支援（東京支部主催）

ア. 管理職受験希望者への研修の、新しいあり方の検討をする。

### 9. 新規採用教員予定者激励会

全国の公立、私立学校教員採用試験に合格した学生を招待し、激励会を開催する。

以上

## 総会 総括

平成 29 年度理窓教育会総会は、昨年度と同様「書面総会」の方式をとらせていただきました。従いまして、議案に対するアンケート形式を採り、全国支部長の皆様の意向を集約させていただきました。

### ◎ 集約の結果

回答のあった支部数 17 (昨年度 17)

1号議案 賛成 17 反対 0 白票 0

2号議案 賛成 17 反対 0 白票 0

3号議案 賛成 17 反対 0 白票 0

4号議案 賛成 17 反対 0 白票 0

① 議案に反対する意見は 0 です。

② 以上、賛成、反対、白票および参考意見を吟味しまして、各議案のすべてをご承認いただいたことにさせていただきます。

以上、平成 29 年度総会は、各支部長等皆様のご協力により、無事終了させていただくことができました。皆様方のご理解とご協力に厚くお礼申し上げます。

ご意見等のあった支部数 1

- ・(群馬) 各支部総会の充実と会員の拡大を図ってほしい。

※いただいたご意見等は 10 月 6 日の定例理事会で検討をする予定です。

## 理窓会 東京支部総会報告 東京支部副支部長 廣瀬 和昭(48S)

5 月 28 日(日)午後 1 時 30 分より標記総会が神楽坂キャンパス 1 号館 17 階記念講堂で開催された。本山理事長、藤嶋学長、森野維持会会長、石神理窓会会長、首都圏 3 県支部、こうよう会会長など来賓が多数出席した。

植木キク子支部長は「東京支部は全国支部の模範となるように、活発な活動したい。そのためには会員一人ひとりが積極的に大学の発展を願いながら結束することが大切であ

る」と挨拶し、活動報告・収支報告・活動計画・収支予算が審議された。

引き続き理窓教育会との共催による報告会・講演会に入った。報告会では本山理事長より大学の現状について話された。昨年度の卒業時の就職状況や大学院への進学状況が好調であり、今年度の入学者数はほぼ予定通りの学則定員に近い人数を迎えることができたとの報告。2031 年に学園は創立 150 周年を迎えるに当たり、「TUS Vision 150」の説明があった。石神理窓会会長は大学の発展は理窓会の力強い応援によって成り立つものである。森野維持会会長は物理学校からの歴史を通して先駆者の血と汗の努力により今日がある。維持会への寄付は重要であると力説。

講演会の講師は諏訪東京理科大学の河村洋学長。演題は「国際宇宙ステーションにおける最初の科学実験と最近の宇宙開発」。

懇親会の冒頭、藤嶋学長が挨拶。近代科学資料館に日本で最初に発明した「屋井乾電池」が展示されている。屋井先蔵氏は物理学校卒で優秀な研究者であることを紹介した。終始和やかな雰囲気での懇親会であった。

## 理窓会 支部長会報告 理窓会副会長 坂本 功(41S)

理窓会支部長会が 6 月 25 日(日)神楽坂校舎 1 号館 17 階大会議室で行われました。

今年の支部長会は「支部活動の活性化～支部総会開催のあり方～」というテーマで話し合われました。

各支部からさまざまな取り組みや、活性化させるための工夫が報告されました。

地域が広い県での、地区別の会議、開催地区を持ち回り等の工夫。他支部との交流、こうよう会との連携。同窓による講演、や演芸、見学会やハイキング等を取り入れたユニークな取り組みも紹介され、和やかな中にも充実した会となりました。今後の支部活動の大きな示唆となる会となりました。

**理窓会 代議員総会報告**  
**理窓会常務委員 小久保正己(44S)**

梅雨空の天気の中、6月26日(日)午後1時より神楽坂キャンパス1号館記念講堂で、平成29年度理窓会代議員総会が開会された。

来賓を代表して本山和夫学校法人東京理科大学理事長から「新年茶話会でお話した『TUS VISION 150 東京理科大から TUS へ』ができあがった。本学は2031年150周年を迎える。これを中長期計画に収れんさせ、大学改革を推進していく。9つの課題と改革として(1)組織改革とブランド価値向上 (2)大学の財務的基礎体力強化 (3)アドミッションポリシーの変革 (4)グランドデザインの構築 (5)世界をリードする創造的研究推進と研究拠点の構築 (6)キャンパスの再構築 (7)危機管理体制の充実 (8)国際競争力強化のための体制整備 (9)校友・地域社会との生涯に渡る連携強化」を示され、『東京理科大学から TUS へ』を達成するために努力していきたい」との熱意あふれる挨拶があった。

続いて、石神一郎会長より「理窓会の目的は大学への協力と同窓会員の親睦と社会貢献である。当面の課題と施策として、(1)21万人卒業生がネットワークで繋がること(2)理窓会支部活動の充実(3)再就職の支援(3)在学生への支援。長期的な課題と施策として、(1)海外理窓会の拡充と支援(2)関連団体の拡充。これらのことを理窓会の組織をあげて取り組んでいこう」と力強い所信表明があった。

その後、総会次第に則って議事に入った。活発な審議がなされた後、それぞれの議案が満場一致で承認された。議事に引き続き、報告事項についての説明があった。

- (1) 第12回ホームカミングデー
- (2) 第9回坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト(高等学校)
- (3) 維持拡充資金(第二期)」について

以上、平成29年度代議員総会が滞りなく執り行われ、実りある総会になった。

**「坊っちゃん科学賞研究論文  
コンテスト」について**  
**実行委員長 坂本 功(41S)**

「坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト」は今年で9回目を迎えます。東京理科大学と理窓会の共催です。4月に全国約2,000の高等学校に応募案内を発送しました。また理窓会のホームページでも、応募要項や過去に受賞した高校や研究題目も見られます。

8月31日に応募論文の提出を締め切り、9月9日に物理、化学、生物、地学、数学、情報、その他の分野に分かれて36人の理窓教育会の先生を中心に分野別審査を行いました。優秀賞の候補の高校を決定し、9月15日に12人の大学の先生により5校の優秀賞の高校を決めました。この選ばれた5校が10月29日のホームカミングデー当日、プレゼンテーションを行います。秋山仁先生が審査委員長になり発表会の審査を行い、晴れの最優秀賞の高校が決定します。

その後、応募研究論文を掲載した作品集を作成する予定です。

(関連ニュース)

26年度からスタートしたグローバルサイエンスキャンパス(GSC)は最終年度の4年目の取組が行われています。さらに昨年度から宇宙教育プログラムが始まり、最先端の宇宙科学技術による本物体験ができます。

こうした事業を推進するためには、意欲ある高校生を推薦し継続的に支援していく高校の協力が不可欠です。

なお、ホームカミングデーで「坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト」と並んで開催していた「第10回数学・授業の達人大賞授賞式・模擬授業」は、今年はホームカミングデーとは別の日に行われます。この種のコンテストは他にありませんので、全国の教育関係者から注目されています。

## 新任教員の抱負

### 東京都西東京市立ひばりが丘中学校

教諭 小野 智央 (平 29 理工・数)

今年の 4 月から教員として新たなスタートを切りました。最初は不安もありましたが、今は教員という仕事にやりがいを感じています。私は現在、西東京市立ひばりが丘中学校で第二学年の副担任をしています。ひばりが丘中学校では教員として様々なことを学ぶ毎日です。副担任として、担任の学級経営に関わることがありますが、同学年でもクラスによって大きく異なります。それでも共通していえることは、担任が必ず「生徒のため」に動いているということです。その一つ一つの行動にある生徒に伝えたいことを理解したとき、先輩教員の凄さを改めて実感します。私が担任になったときはどのように学級経営したいか、そのためには何をすればよいのかを日々勉強しています。まだ先の話ですが、担任という立場で生徒に関わるのがとても楽しみです。

先輩教員からだけではなく、生徒から学ばされることもあります。例えば、部活動のときです。私は小学校から大学まで野球を続けていましたが、ひばりが丘中学校では全く経験のないサッカー部の顧問を任されました。技術的指導が全くできない中でのスタートでしたが、今は生徒と一緒に練習しながら指導をしています。私は指導をしていく中で、生徒の近くにいればいるほど、生徒も心を開いて話を聞いてくれるということに気付かされました。経験がないので、上手くいかないこともあります。生徒が話を受け入れて成長する姿を見たときは教員になって良かったと感じます。部活動は結果を残すことも大事ですが、それ以外にも伝えるべきことはたくさんあるはず。運動部の経験者として、誰からも認められる部活を目指して頑張っていきます。

まだ私は教員として未熟者です。しかし、

学び続けることを忘れず、また「生徒のため」に教員としてできることに力を尽くし、生徒と一緒に成長していきたいです。

### 長野県長野市立更北中学校

教諭 鳥羽 萌香 (平 29 理工・物)

私はこの 3 月に理工学部物理学科を卒業し、出身である長野県に戻り、長野市立更北中学校で 1 学年の副担任をしています。元気で明るく、人懐こい生徒に囲まれて過ごす毎日はとても楽しいです。

教員になり、何もかもが初めてで、最初は上手くいかないことだらけでした。授業では、1 年生と 2 年生と特別支援学級の 5 クラスの数学を担当させてもらっています。生徒が一人ひとり違うので当たり前のことですが、同じ授業内容でも異なるクラスで行えば、異なる反応が返ってきます。最初の頃は授業が上手くいかないことに悩み、わかりやすい授業をできない自分にいらだち、焦っていました。そんな時に初任者指導の先生や教務主任の先生に相談したところ、多くのアドバイスをいただきました。その中でも「わかる授業、いい授業よりも、生徒全員が参加する授業を作ればいい。」というアドバイスを実践した 1 学期でした。「全員が参加する」と言っても、自ら問題を解いたり、黒板に書いたりすることからではなく、わかるときには声を出すこと、わからないことはわからないと言える環境を作ることを心がけました。それは簡単なことではなく、時間のかかることでした。けれど、少しずつですがそういった授業の雰囲気になってきたように思います。そして何より生徒に「数学楽しい」と言ってもらえることがとても嬉しく、私を前向きにしてくれます。

様々な場面で悩んだり、困ったりした時に相談できる先生が周りにいることや、学年も教科も違う先生方にも優しく声をかけていただけたり、時には仕事を任せてくださったり、本当に恵まれた環境で教員という仕事が出来ていることが幸せです。まだまだ未熟な私ですが、たくさんの方を周りの先生方や生徒

から教わり、常に前向きに挑戦し続け、生徒と一緒に成長していきたいです。

## 東京都立光丘高等学校

### 教諭 松本 大樹 (平 29 理工・物)

教師になることが私の小学生の頃からの夢でした。夢を叶え、平成 29 年度より東京都立光丘高校の教員として働いています。大学で指導をしてくださった先生方、共に面接練習をした仲間に改めて感謝したいと思います。

まだ一年目ですが、塾講師をやっていたため授業に関しては上手くやっけていけるように思います。日々教え方を考えたり生徒の質問に答えたりしていると、僕自身も物理に対する新たな発見があり、楽しいです。分掌は進路部で、右も左もわかりませんが、周りの先生方のサポートもありこちらもなんとかやっていくことができます。

そんな私ですが、一つ悩んでいることがあります。光丘高校は生徒指導が非常に厳しい学校です。教師になった私の今の悩みはその生徒指導です。日々の学校生活で生徒と楽しく話すことはできます。しかし、いざ生徒に注意をしたり叱ったりするのはものすごくエネルギーを使います。小さなことを見逃さず注意していかないと、生徒はよくないことでもやっていいことなのだと、都合よく考えてしまいます。私は日々の校務に追われ、気力がなくなっているとき、注意すべきことに気付いていても見逃してしまうことがあります。そういった見逃しの付けが回ってくると、生徒が言うことを聞かなくなります。「あの時は注意しなかったのになんで今はだめなの」と。生徒は教師を良く見ているんだと改めて思いました。そんなところから信頼関係が曖昧になっていきます。それでもなんとかやっていけているのは他の先生方が日々気力を振り絞り生徒指導を行っているからであり、私は守られているのだと思っています。生徒指導をこの一年目の残りの時間で、克服していきます。来年は恐らく担任を持ちます。生徒と仲良しの関係ではなく、強い信頼関係を築けるよう、今から気力を振り絞り些細な

ことを見逃さず、きちんと注意していける教師になっていきます。

## 宮崎県立延岡工業高等学校

### 教諭 甲斐 千春 (平 29 理工・応生)

私は今年の 3 月に東京理科大学理工学部応用生物科学科を卒業しました。4 月から、宮崎県立延岡工業高等学校に勤めています。延岡工業高校は私が高校まで過ごした場所にある高校で、生徒たちは立志・勉勵・創造を校訓に日々の学校生活を送っています。学科が沢山分かれており、生徒たちが将来の夢を見据えて毎日勉強に励んでいます。

私は中学・高校・大学と理科を勉強し、「理科って日常生活がこんなに豊かになる教科なんだ」とずっと思っていました。その魅力を一人でも多くの生徒たちに伝えたいと思い、教員を志望しました。しかし、実際に教員生活を送ってみて(まだ 3 ヶ月ほどですが)、予想以上に理科の魅力が伝わらない(伝えるスキルがない)と気づく場面が多いです。日々「どのようにすれば伝わるか、楽しいと思ってもらえるか」を意識しながら授業計画を練っています。しかし、「よし、今日の授業はばっちり」と思っていざ授業に臨むと時間内に終わらない、テスト範囲が終わらない…など沢山の挫折を日々経験しています。生徒の「わかった」、「理科って面白い」という表情や言葉を大切にし、一人でも多くの生徒が「理科の勉強って楽しいじゃん」と思ってくれるよう努力したいと思います。

また、毎日沢山の先生方にお世話になっています。担任の先生、教科の先生方、学科の先生方にはいつも気にかけていただき、相談にも乗っていただいたりもしました。生徒との接し方や振る舞い方、授業計画など全てが勉強になります。

自分の妹や弟とそんなに歳が変わらない生徒たちですが、毅然と、でも優しく接することは非常に難しいと感じる毎日です。しかし、日常行っている地道な指導やコミュニケーションが生徒の進路実現に少しでも役立てばいいな、と思いつつ、毎日を過ごしています。

## 神奈川県立川和高等学校

教諭 三堀 大佑 (平 28 理・数)

平成 28 年 3 月に卒業し、1 年間の臨時的任用職員の経験を経て、今年度から新採用として、神奈川県立川和高等学校に勤務しています。川和高校は「高い次元の文武両道」を掲げ、生徒達は勉強も部活も行事も全力で取り組みます。それをサポートするために、教員も一丸となって、授業研究や部活の活動環境を整えたりしています。

授業では、生徒の学習意欲が高く、とても良く話を聞くため、いいプレッシャーを貰いながら、万全の準備をして臨むようにしています。毎回の授業で、どんな力を付けさせたいか、何ができるようになって欲しいかを考えるとともに、なるべく生徒が頭を使えるような授業展開を考えています。授業準備はとても時間が掛かり、大変ですが、授業中の生徒の問題を解けた時の嬉しそうな姿や、説明を聞いて、「あ、そうか!」という声を聞くことで、しっかり準備して良かったなど思っており、楽しく授業させてもらっています。

授業と同様に部活動も楽しく参加させてもらっています。私はソフトテニス部と囲碁将棋部の顧問になっています。ソフトテニスは中学校時代の 3 年間のみの経験で、およそ 9 年ぶりにプレイするので、ほとんど打てない状況ではありますが、生徒の皆が「先生も打って下さいよ!」と言ってくれるので、心置き無く参加させてもらっており、生徒に負けないように練習に励んでいます。囲碁将棋も全くの初心者ですが、少しずつ覚える努力をしています。部活動において、生徒と一緒に練習したり、話したりすることが、仕事をする上での私の楽しみでもあります。

毎日を考えてみると、色々な仕事があり、忙しさを感じる一方で、仕事をした充実感が倍以上です。全てに全力で取り組むことが、周囲の方からの信頼を得られることを信じて、これからも頑張っていきたいです。

## 東京都港区御成門中学校

教諭 龍原 美帆(平 26 理・数)

私は平成 26 年 3 月に理学部第一部数学科を卒業し、現在、港区立御成門中学校に数学科教員として勤務しています。御成門中学校では、窓の外を見れば東京タワー、校舎を一步踏み出れば芝公園や増上寺と、多くの自然や歴史を感じることができます。

この 1 月で、御成門中学校に勤務してから 1 年 10 か月が経とうとしています。教師として、社会人として大切にしていることは、“謙虚に一生懸命に”ということです。働き始めたとき、校長先生に「とにかく最初の 3 年間はがむしゃらにがんばりなさい。」と言葉をいただきました。その言葉の通り、とにかく一生懸命に働くことを心がけています。最初は失敗ばかりで、めまぐるしく過ぎていく毎日でしたが、今では、落ち着いて物事を見て、生徒の前で自信をもって指導ができるようになりました。振り返ってみると、そこには多くの同僚の先生方の支えがあったからこそだと思います。常に、“謙虚に一生懸命に”という姿勢を心がけていれば、間違ったときに指摘してくださる人が必ずいます。何年経っても、「教えてください」という謙虚な姿勢を大切にしていきたいです。

教師として大切にしていることは、常に生徒のことを第一に考えることです。日々、生徒の顔を思い浮かべながら、教材研究やプリントの添削などをしていれば、どんな手間も厭いません。また、今は担任をもっていないので、様々な学年の生徒と幅広く関わることができます。1 秒でも長く生徒と関わり、一緒に遊ぶ。そういった小さな積み重ねが、生徒との信頼関係や、授業のやりやすさに繋がっていると感じています。

大好きな数学を仕事にすることができて、私はとても幸せです。理科大で学んだ専門的な知識を使い、数学の素晴らしさを生徒に還元していけるよう、これからも日々前進していきます。まだまだ未熟ですが、教師力や人間性を磨き、生徒にとって素晴らしい“師”となれるように、これからもがんばります!

## 茨城県立坂東総合高等学校

教諭 塚原 章太 (平 28 理・数)

私は平成 28 年 3 月に理学部第一部数学科を卒業し、4 月から坂東総合高等学校に勤務しています。坂東総合高等学校は、1 学年 3 クラスの計 9 クラスで全校生徒 255 人の学校です。生徒数に反して敷地は県内でも 3 番目に大きく、東京ドーム約 3.2 個分もあります。元々は農業学校であったため、農業が盛んなのが魅力のひとつです。学校内には畑や田んぼがあり、収穫の際には獲りたて新鮮の果物や野菜を食べることができます。総合学科の高校で、人文、生物資源、環境デザイン、情報ビジネス、ライフデザインの 5 系列から自由に選択して学習することができます。

私は、1 学年の副担任で女子バレーボール部の主顧問を任されました。小学校から高校までずっと野球を続けていたので、バレーボールは全く分からず正直不安でした。生活面やスポーツを行う上でのマナー、気持ちの持ち方は多少なりとも指導できるが、技術面の知識はゼロです。なので、生徒と一緒に練習をし、基本技術やルールを覚えています。部員は 7 名と少ないが、公式戦 1 勝を目指して日々練習に励んでいます。

授業は、1 年生の数学 I、2 年生の数学 A、3 年生の計算数学 B(本校独自の科目)と道徳を担当しています。本校の生徒は、勉強が苦手であり、自から進んで勉強する意欲もあまり無く、授業中集中力を欠いてしまう生徒も少なくありません。なので、集中させて授業に取り組ませることを第一の目標としています。しっかり座らせて聞く耳を持たせる、おしゃべりをしないなど教科指導以前の問題ですが、中々上手くいきません。先輩教師の授業を見学したり、助言をもらったりしながら頑張っています。

今は未熟ですが、周りの先生方のおかげで充実した毎日を送れています。来年は担任を任されて、やるべきことが増えると思うので、日々成長できるように頑張りたいです。

## 早稲田大学系属早稲田渋谷シンガポール校

専任講師 全 美娜(平 28 理・数)

私は毎日、特別な朝を迎えています。それは、出勤すると、日本を始め、シンガポール、マレーシア、中国、タイ、インドネシアなどアジア各国から集まった生徒が笑顔で「おはようございます。」と挨拶してくれるからです。平成 28 年 3 月に理学部第一部数学科を卒業し、現在私が勤務をしているのは、シンガポールにある早稲田大学系属早稲田渋谷シンガポール校(略して早稲渋)という高等部の在在外教育施設です。

早稲田大学をはじめ、日本にある大学を進路として希望している生徒が通っている早稲渋は、シンガポールという立地から国際交流活動や英語に力を入れていますが、進学後のことも考え、授業に対してかなり本気です。私が担当している数学の授業のほとんどは習熟度別に 4 つのクラスに分かれています。その中で私がいつも意識させられるのは、いかにして理解度のばらつきに左右されずに、すべての生徒の考える力を伸ばすかということです。例えば、グループワークを中心として授業を進めるとき、どのような問いかけをし、どのような教材を用意すれば、生徒同士が活動しやすいかを考えることは常に課題となっています。発問が抽象的すぎたり、準備したプリントが使いにくかったりと失敗を繰り返していますが、試行錯誤を続け、授業のなかで生徒たちが自ら議論し、教え合う姿が見られたときは何物にも代え難い喜びを感じます。いち早く授業スタイルを確立させためにも、先輩教員に助言をもらいながら、よりよい授業を目指していきます。

4 月に常夏のシンガポールに赴任し、最初は照らしつける太陽、飛び交う外国語そして初めての一人暮らしに慣れないことも多くありましたが、心温かい同僚のおかげで今では、不自由なく楽しく暮らしています。また、生徒に負けず、視野を広げるためにも、休日は外出し、観光客気分です異文化体験をしています。たくさんの方に挑戦できるこの恵まれた環境で、キャリアを築き、数学と教育の

プロとなるよう精進していきます。

## 富山県立しらとり支援学校

### 教諭 近藤 恭子(平 28 基工・修生物工)

私は平成 28 年 3 月に基礎工学研究科生物工学専攻を修了し、4 月より富山県立しらとり支援学校に勤務しています。しらとり支援学校は知的障害が主障害の児童生徒が在籍しており、小学部から高等部までである県内で一番大きな特別支援学校です。私は中学・高校の理科教員として採用されたため、特別支援学校への配属は予想外でした。特別支援教育や障害についての知識がほとんど何もないまま、勤務が始まりました。毎日が新しい学びの連続で、新鮮でもあり、難しいと感じることもたくさんあります。

難しいと感じることの一つに、高等部の理科の授業があります。生徒たちの実生活に繋がり、生徒が楽しめるような理科の授業を考えなくてはなりません。伝えたいことが生徒にうまく伝わらなかったと感じることも多くありました。しかし、周りの先生方が多くのアドバイスを下さいます。そのため、授業の内容から、教え方、細かいテクニックまで本当に勉強になり、授業のテクニックが増え、徐々に生徒と一緒に、楽しんで授業をすることができるようになってきました。

そして、うまくいかず落ち込むことがあったときは、生徒の頑張っている姿を思い浮かべます。例えば、私が勤務を始めて最初の大きな行事として運動会がありました。私が副担任をしている高等部のクラスの生徒に、歩行が困難で、普段は車椅子で移動をしている生徒がいます。運動会の練習にあまり参加することができずにいたのですが、周りの友達上手にその生徒と手を繋ぎ、走る練習を少しずつ、少しずつ頑張りました。練習では、転んだり、座ってしまったりしていましたが、運動会本番、なんと一度も止まることなく見事に完走したのです。とても感動し、もっと子どもたちのために頑張りたいと思いました。まだまだ、学ばなければいけないことはたくさんあります。しかし一つ一つのことに

一生懸命取り組み、少しずつでも確実に前に進めるよう努力したいと思います。

## 千葉県立成東高等学校

### 教諭 中野 雄斗(平 28 理・教)

私は平成 28 年 3 月に理学部第一部数学科を卒業し、4 月から千葉県立成東高等学校に勤務しています。成東高校は山武市にあります。山武市は自然が豊かでいちご狩りが有名です。普通科に加えて理数科もあり、進学重点校にも指定されていて勉強に力を入れている学校ですが、部活動も盛んに行われています。

私は高校卒業まで北海道で過ごしたので千葉県のことはよくわからず、ゼロからのスタートでした。現在生活しているところは、今まで過ごしてきた環境とは全く異なっていて、勤務や生活に不安もありましたが、少しずつ慣れてきています。

学校ではとにかく授業が大変です。毎日授業準備に追われており、初めの頃は思うように授業ができず悩むこともありました。指導の先生から「できない生徒ができるようになる」という言葉を頂いて、日々そのような授業を模索しています。大変なことも多いですが、自分の中で上手く授業をすることができたと感じた時は嬉しいですし、自信につながります。また、他の数学の先生方と数学の話ができる環境にいることがなにより幸せです。

部活動では、ホッケー部の顧問をしています。私は高校までサッカーをやっていたので第二顧問とはいえ、自分に務まるのか、生徒に何かを伝えられるのか、不安でいっぱいでした。しかし、ホッケー部の生徒はすぐに初心者を受け入れてくれたので、生徒に教えてもらいながら一緒に練習をしました。もともと球技は得意な方だったので、今では試合形式の練習に出たり、生徒に技術的な指導をしたりすることも多くなりました。初心者の私が生徒と信頼関係を築くために、ただ指示をするだけでなく、全ての練習を生徒と共に行うことを常に心がけています。

全てが初めてのことなので、他の教員との

協力を大切にして失敗を繰り返しながら成長していきたくと思います。

## 私立横須賀学院高等学校

### 教諭 堀 文彦(平 28 理・物)

私は平成 28 年 3 月に理学部第一部物理学科を卒業し、4 月から母校の横須賀学院高等学校で物理教諭として働いています。

最近、アクティブラーニング (AL) 型授業に挑戦しています。きっかけは、授業をしていて面白くないと感じるときがあったことです。真面目な生徒が多くとても授業をしやすかった一方、反応が薄く虚しい気持ちになることがありました。生徒はもちろん、私自身も楽しい授業をするにはどうしたらよいかを考えた結果、AL 型授業を取り入れることにしました。参考書や教育雑誌を読み、自分のイメージする授業の形に近い実践例をそっくりそのまま真似するところから始めました。授業をしてみて、良いところや悪いところをノートに書き出し、少しずつ自分に合う形に進化させていきました。私には、説明 15 分、問題演習 20 分、確認テスト&振り返り 15 分という流れが合っていると感じました。この授業スタイルで最も特徴的なのは問題演習です。近くの人に質問しても良い、解き終わっている人のところまで立ち歩いて質問に行っても良い、その代わりに最後の確認テストで全員満点を取る、というルールで演習をさせています。私が一方的に教えるよりも、生徒同士が教え合う方が学習の定着化を図ることができるからです。私に質問をしてくる生徒もいますが、「この問題は〇〇さんが解けているよ!」と教えるだけで、基本的に問題の解説はしません。生徒が演習している間の私の仕事は、教室中を歩き回り、ひとりぼっこの生徒や、授業に関係ない話をしている生徒に「確認テスト、満点取れそう?」と声をかけることです。教壇を降り教室中を歩き回ることによって、生徒との距離を一気に縮めることもできました。私の目標は、常に成長し続けるたくましい教師になることです。先輩からはもちろん、生徒からもたくさんのご意見を吸収

し成長していきたいです。

## 管理職への昇格

平成 29 年度の人事異動で、多くの同窓生が管理職に昇任されました。心からお祝い申し上げます。

### 【岩手県】

及川研一 58 理工物 県立山田高等学校長  
鈴木広樹 61 理数 県立住田高等学校長

### 【秋田県】

島山真一 58 理数 県立秋田明德館高等学校長

### 【埼玉県】

高柳壽男 57 理化 県立滑川総合高等学校長  
片野秀樹 平 2 専数 県立松伏高等学校長

### 【千葉県】

込宮一之 57 理応化 県立君津高等学校校長  
益子孝嗣 60 理化 県立柏陵高等学校頭  
川邊浩一 61 理数 柏市立柏高等学校頭  
湯上準一 平 2 理数 県立匝瑳高等学校頭  
高橋重幸 平 1 理化 県立船橋二和高等学校頭  
丸山誠一 平 1 理数 県立特別支援学校

市川大野高等学園頭

島原一紀平 3 理応数 市川市立第四中学校頭

### 【神奈川県】

柏木信一郎 理応数 県立横浜緑園高等学校長  
柴田功 62 理物 県立鶴見高等学校副  
小島嘉男 63 理応数 県立逗葉高等学校頭  
井浦洋 61 理応物 県立神奈川工業高等学校頭  
川端啓明 62 理物 県立向の岡工業高等学校頭

### 【長野県】

山崎裕史 59 理工数 県大町岳陽高等学校長  
宮澤典彦 59 理数 県篠ノ井高等学校犀峽校副

### 【富山県】

永井修 57 理応数 県立上市高等学校長

### 【岡山県】

赤松一樹 60 理応数 県立真庭高等学校長

### 【広島県】

中原健次 62 理工物 県立大崎海星高等学校長

### 【東京都】(管理職校長選考合格者)

宮本俊行 60 理数 江戸川区立小岩第二中学校副  
以上、名簿到着の都道府県のみ掲載です。

## 同窓の活躍

「これまでの教員生活を振り返って」

東京都立武蔵高等学校附属中学校  
統括校長 高橋 豊 (58理工・数)

都立武蔵高校附属中学校には、昨年4月に着任しました。高校は創立77年の歴史を積み重ね、高校からも生徒を募集する学年5クラス規模の併設型の中高一貫教育校としては、今年で10年目を迎えています。本校は「豊かな知性と感性」「健康な心と体」「向上進取の精神」を教育目標に、「国際社会に貢献できる知性豊かなリーダー」の育成を目指している学校です。

この春卒業の中高一貫校第4期生は、東大5名、国公立医学部6名を含めて京大、東工大、一橋の難関国公立大学の現役合格者は、3期生の23名を下回ったものの、17名でありました。早慶上智理科大には、延べで83名が現役で合格しました。また、平成28年度国際数学オリンピック香港大会銀メダル受賞、科学のジュニア甲子園全国大会出場、29年度国際地理オリンピック・セルビア大会出場など、生徒たちは各方面で活躍しています。

本校には穏やかで素直な生徒が多く、私は日常の挨拶を大切にしておりますが、生徒の笑顔の挨拶にとっても幸せな気持ちになる毎日を過ごしています。

さて、私の教員生活は、都立赤羽商業から出発し、今年で35年になりました。管理職になる前の22年間では、クラス担任が主で、11年間在籍した都立高島高校では、そのうちの3サイクル9年間をクラス担任するなど、これまで合計15年間担任を担いました。

その中で、学校改革真っただ中の時代に6年間在籍した足立新田高校は、特に思い出深い学校の一つです。ここでの担任は3年間でしたが、父親役として生徒と向き合いました。個性豊かな生徒たちを相手に、生徒一人ひとりを褒め、そして叱る毎日を送りました。また、部活動では硬式野球部の部長を務めま

した。野球部は、最初は部員も少なく公式戦の出場もぎりぎりの状況でしたが、在籍最後の年は東東京ベスト8となりました。その時の一年生部員の一人が、プロ野球・東京ヤクルトスワローズの秋吉亮君です。秋吉君が3年時には、東東京ベスト4と甲子園まであともう一歩と、この時はベンチではなくスタンドからの応援でしたが、わくわくする気持ちも味わいました。

また、同学年には大相撲幕の内の千代大龍関が在籍するなど、初任校からこれまで出会った生徒たちの様々な分野での活躍や、卒業後の交流が今の私の楽しみの一つでもあります。

また、教育委員会も6年間経験させていただきました。最初の職務が東京都西部多摩地区の学校経営支援センター・統括学校経営支援主事、50歳の時でした。行政はこの時が初めてで、最初は戸惑いもありましたが、教員系だけでなく行政系の様々な方々との出会いや頂いたアドバイス等を通して、僅かずつながらも前に進むことができたと思っています。

その後は2年間の都立保谷高校の校長を経て、再び学校経営支援センターに戻りました。所管校には、千代田・文京区を含む東京東部地域の、進学重点校から昼夜間の定時制課程まで、様々なタイプの学校がありました。担当課長として、教員人事や生徒指導等について、各学校の校長先生や副校長先生のご要望を踏まえた本庁各部との調整が主な職務の一つでした。

そして、都立学校担当の主任管理主事として2年間、新宿都庁36階の人事部に勤務しました。ここでは、都立高校、都立中高一貫校や都立特別支援学校の教員に係る人事を担当させていただきました。

特に管理職になってからは、様々な方々と出会えたこと、そして様々な方々からご協力や励ましをいただいたことに深く感謝しています。

現任校の都立武蔵は、校長としては2校目の学校です。そもそも私が教師を目指した理



理窓教育会の発展は、「理窓教育会報」の充実如何にかかっていると云っても過言ではありません。「理窓教育会報」が今後ますます魅力あるものへと充実し、100号、150号の発刊につながるよう大いに期待しています。

## 大学との連携

(460B) 榎本 成己

### 1 教員採用試験対策講座【直前対策コース】

今年度は、4月2日、4月9日、4月16日、4月23日、4月30日、5月7日に実施しました。内容は、教育課題①～⑤、教職教養①～④、専門教養①～⑧、論作文①～⑥で、直前対策として教員採用試験に直結する項目を主に演習形式で構成しました。さらに、5月14日、6月25日に特別論作文と専門教養模擬試験を実施しました。

これらの講座では、理窓教育会の先生方12名が80名程の学生を精力的に指導しました。

なお、一次試験で集団面接を実施する自治体向けに7月1日、7月2日に特別な対策講座を実施しました。

### 2 教員採用試験第二次試験対策講座

教員採用一次試験を受験した学生を対象にして、教員採用二次試験対策講座を、理窓教育会の先生方21名が講師となり8月8日、8月9日に集中して行いました。

東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県、その他に分かれ模擬授業、場面指導、集団・個人面接等を行いました。この講座の前後には、自主的に勉強会を行う学生たちの要望を受け入れて、特別に講習会を行いました。

例年、これらの講座を通して力をつけ、多くの学生が合格の栄を勝ち取っています。今年度も、教員志望の意欲的な学生たちが参加したので、大きな成果が得られるものと期待しています。

なお、これらの講座は、大学の授業の中に位置付けられてはならず、教職教育センターの主催となっていますが、企画・運営にあた

っては理窓教育会の先生方が大きな役割を果たしています。この場を借りて御礼申し上げます。

## 事務局より

### 1 理窓教育会事務局について

理窓教育会事務局は PORTA 神楽坂 7 階の理窓会事務室内に置かれています。

ただし、理窓教育会事務局専属の事務員がいるわけではありませんので、ご連絡は郵送でお願いいたします。

なお、お急ぎの場合には、2 の支部長等の連絡窓口にご連絡ください。

#### 書面での連絡先

〒162-0825 新宿区神楽坂 2-6-1

PORTA 神楽坂 7F 理窓会事務所内

東京理科大学理窓教育会 宛

### 2 支部長等の連絡窓口

教職課程指導室 高橋 伯也 (編集担当)

TEL 03-3260-4271 内線 2780

FAX 03-3260-1776

メール [takahaku@rs.tus.ac.jp](mailto:takahaku@rs.tus.ac.jp)

### 3 理窓教育会ホームページ

「理窓教育会」と入力すると、開きます。「東京理科大学理窓会」のホームページの中に「理窓教育会」のものがああります。

ホームページアドレスは次の通りです。

<http://risoukai.com/educ/>

(編集後記) 第 50 号をお届けいたします。

お忙しい中、紙面総会等でご協力いただいた支部長さん、原稿や記事をお寄せいただいた皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。有難うございました。

さて、教育会報はちょうど記念すべき 50 号になりました。磯脇先生のお祝いの記事のとおり、これから 100 号、150 号の発刊につながるよう、フレッシュな気持ちで全国の皆様と取り組んでいきたいと考えます。

#### 4 会費納入状況

下記の表の通りです。平成 29 年度は 8 月 8 日現在の納入数です。ゆうちょ銀行などの「サービス料金・手数料の改定」により、払込み料金が窓口料金は 130 円(5 万円未満)となりましたが、ATM 料金はこれまで通り 80 円(5 万円未満)です。**今後の会費払込みにつきましては、できるだけ ATM で行ってくださるようお願いいたします。**

今後とも会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、郵便払込取扱票の口座番号などは、次の通りです。

**(口座番号) 00160-9-715349 (加入者名) 東京理科大学理窓教育会**

(会計統括理事 (46B) 齋藤 常男)

理窓教育会					支部別会費納入数				
県名	26年度	27年度	28年度	29年度	県名	26年度	27年度	28年度	29年度
北海道	1			3	滋賀		1		1
青森	1	1	2	1	京都				
岩手	3	3	4	3	大阪				
宮城	5	3	4	3	兵庫	5			
秋田	16	20	22	26	奈良				
山形	1	1	1	1	和歌山				
福島			1		鳥取	2	5	1	
茨城	7	8	7	3	島根				
栃木	1	1	1	2	岡山		12	10	1
群馬	2	1	5	1	広島	24	26	31	1
埼玉	46	34	27	27	山口	3	2	2	2
千葉	34	32	33	31	徳島				
東京	67	68	62	48	香川				
神奈川	7	20	13	8	愛媛				
山梨	1	2	1	2	高知	1	1	1	1
長野				1	福岡				
静岡	16	15	11	12	佐賀	1	2		2
愛知	3	2	3	2	長崎	1	1		
岐阜	1	1	1	1	熊本				
三重	1	1	1	1	大分				
新潟	1	2	3	1	宮崎		1		2
富山	8	2	2	2	鹿児島	1		1	1
石川					沖縄				
福井					小計	38	51	46	11
小計	222	217	204	179	合計	260	268	250	190

平成29年度は8月8日現在です。